

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和２年度中間）

1 支援の内容及び効果等（１）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組」

- (1) 「地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (2) 「つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (3) 「組織運営」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
B	・ 日常の支援や地域派遣型支援員体制により地域課題やニーズの把握に努め、支援員研修会等を活用した支援の取り組みは評価できる。 ・ 「まちライブラリー」の事業拡充は、地域魅力向上、再発見をめざす新たな視点による人材育成等に展開されており評価できる。 ・ 地域の実情に応じた支援により、新型コロナウイルス感染防止に伴う事業計画変更等について適格な取り扱いがなされている。 ・ 会計事務等について安定的に遂行されているが、より高い透明性が求められている現状において、担い手育成等引き続きの支援を実施してもらいたい。

2 支援の内容及び効果等（２）

評価項目

「事業の実施体制等」

- (1) 自由提案による地域支援の実施状況
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等

評価	左記の理由
A	・ 支援員研修会での取り扱いから全体的な運用に至った地域情報プラットフォーム「アナログラム」は、新たな広報手段として評価できる。 ・ 新型コロナウイルス感染防止に伴う運営委員会等の運営については、感染状況を考慮した手法の提案や運用の支援により円滑な協議会運営がなされていることは評価できる。 ・ 昨今の災害等発生状況もあり、防災・まちづくり支援の両面での支援は、地域ニーズや意識が高く、具体的な支援は有効であり評価できる。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策を含めたアドバイザー３名及び支援員体制による相談窓口の開設等は支障なく、全体の体制配置や地域へのフォロー体制は適切である。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

- ・すべての支援と連動した『見える化』の推進
- ・多彩なテーマの勉強会の開催
- ・マンションコミュニティを核とした地域とのよりよい関係形成支援
- ・まちづくりセンターと地域の協働による広報活動

評価	左記の理由
B	・既存の「地域カルテ」を活用した支援は効果的であり、さらに地域課題等を反映したカルテの充実をはかってもらいたい。 ・コロナ禍における勉強会については、開催方法等柔軟な対応が求められるが、様々な地域課題に対する地域間の認識の共有化や解決がはかられる勉強会となるように事業展開をはかってもらいたい。 ・アナログプログラムの開設やスキルの高い支援員の活用により、効果的な広報活動が展開されている。

4 形成支援

評価	左記の理由
B	・まちづくりセンターと区役所との定例会議等において、当該地域の情報共有や整理や課題分析に努めているが、今後「地域カルテ」の活用等により形成にむけた支援を展開してもらいたい。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・おおむね本市が求める水準どおりの効果が得られており、引き続き区と共有・調整のうえ提案内容の支援を実施してもらいたい。 ・コロナ禍による事業計画変更等があるなかで、各地域活動協議会がより自律した組織運営を行えるように、効果的でより具体実践的な支援等を実施してもらいたい。さらに、多様な団体との連携や、特にマンションコミュニティと地域活動協議会の連携を踏まえた支援方策の提案を積極的に区に対して行ってもらいたい。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。